Voyage

社会福祉法人ラフトの広報誌
ヴォヤージュ

2025.05.31
VOL. 1
創刊号

目次

社会福祉法人ラフトって??? P2 P3
職員インタビュー P4
コーラル商品のご紹介 P5
管理者の独り言 P6

社会福祉法人ラフト

Voyageは航海記を意味します

社会福祉法人
ラフトって
？？？

記念すべき創刊号。ラフトを知らない人のために
まずは法人理念・職員行動指針・沿革のご紹介です！

法人理念

いっしょに生きる。

職員行動指針

その人の「生き方」に向き合うこと

向き合うべきものは、あなたが望む、あなたが選ぶその人の「生き方」ではないことを忘れないでください。その人の人生は、その人のものです。

ひとりひとりの「可能性」を追い求めること

可能性は、出会いによって変化します。可能性は、人の人生を豊かにします。可能性は、無限です。

共に「たのしく」過ごすこと

いっしょに生きるということはたのしいことばかりではないけれど、一緒に笑顔になれた日々の積み重ねが、時に辛い時、苦しい時を支えてくれます。

自らの「生きる」を大切にすること

人を支える仕事は、決して自らの人生を犠牲にして成り立つものではなく、お互いがお互いの人生を尊重し合える関係性の中でこそ、成り立つものです。あなたにしか歩めない、あなたの人生を生きてください。

誰もの「生きる」が尊重される社会を創ること

障害のある方の生活は、社会のあり方や価値観で大きく左右されてしまいます。「社会」を意識し、私たちが期待する「社会」を作ること。それも、私たちの使命です。

沿革

2008年2月 NPO法人ラフト設立 （船橋市海神）
そもそもの目的は、船橋市内に特別支援学校卒業後の通所先がない、しかも西部地区にはほとんどない！ということで、ならばNPOを立ち上げ、船橋市西部地区に通所施設を作ろう！と設立。しかしながら、資金無し、ノウハウ無し・・・ということで、まずは、代表の喜本がこれまで携わっていた事業から始め、その間、勉強会なども行いながら、資金を貯めることにしました。

2008年5月 ≪サポート＆サービスラフト≫ 開所（船橋市海神）
・移動支援、行動援護、居宅介護、重度訪問介護、ナイトケア、タイムケアなど

2012年4月 ≪アイル≫ 開所 （船橋市宮本）
・船橋市日中一時支援＋移動支援・行動援護でどうにか運営
・従たる事業所として「アール」（船橋市海神）開所
⇒2014年4月 定員20名の生活介護へ移行

2014年6月 ≪相談支援センターラフト≫ 開所（船橋市海神）

2016年10月 グループホーム ≪ポート≫ 開所（船橋市丸山）
・定員5名

2019年12月 ≪コーラル≫開所（船橋市高根台）
・日中一時支援事業所＋移動支援・行動援護でどうにか運営
⇒2020年4月 定員20名の生活介護へ移行

2020年11月 グループホーム≪ポート≫の名称を≪グループホームラフト≫に変更

2020年12月 グループホームラフトが住居を追加（船橋市丸山）
・ポートⅠ 定員5名 ／ ポートⅡ 定員6名

2023年2月 法人本部事務所・サポート＆サービスラフト・相談支援センターラフトを船橋市習志野台に移転

2023年3月 社会福祉法人ラフトの設立（船橋市習志野台）

2023年4月 ＮＰＯ法人ラフトで実施していた全ての事業を社会福祉法人ラフトに移行

2024年1月 【生活介護事業】コーラルにアイルを統合（アイルを従たる事業所化）
・コーラル 定員30名 （従たる事業所「アイル」「アール」）

2024年8月 コーラルの従たる事業所として「コラリウム」（船橋市習志野台）開所
・アールを閉鎖し、従たる事業所「アイル」を「うる」に名称変更
・コーラルは、主たる事業所「コーラル」従たる事業所「うる」「コラリウム」を活動拠点とする。

2024年11月 グループホームラフトが住居を追加（船橋市海神）
・ポートⅢ 定員3名

社会福祉法人
ラフトって
？？？

ラフトが運営する事業所の概要について

サポート＆サービスラフト

マンツーマンの支援を大切にしています。

管理者：上間　丈（うえま じょう）
実施事業：行動援護 居宅介護 重度訪問介護
　　移動支援（船橋市）ナイトケア タイムケア
契約者数：96名（令和7年5月現在）
所在地：船橋市習志野台1-11-4 三和医療ビル2階（201）
連絡先：TEL 047-401-0740　FAX 047-401-0278
　　raft@raftnet.org
事業所番号：1212803306

コーラル

“つくる！”をコンセプトに活動しています。

管理者：土屋　滋朗（つちや じろう）
実施事業：生活介護　日中一時支援（船橋市）
定員：30名　契約者数：50名（令和7年5月現在）
所在地：〈主たる事業所コーラル〉船橋市高根台6-27-10
　　〈従たる事業所コラリウム〉習志野台1-11-4 2階（202）
　　〈従たる事業所うる〉海神4-1-9-3
連絡先：TEL・FAX 047-401-6460　coral@raftnet.org
事業所番号：1212803322

グループホームラフト

重度知的障害のある方や行動障害のある方向けに開設したグループホームです。

管理者：喜本　由美子（きもと ゆみこ）
実施事業：共同生活援助
定員：14名
所在地：船橋市丸山・海神（住居数：3）
連絡先：TEL・FAX 047-497-8037　port@raftnet.org
事業所番号：1222800698

相談支援センターラフト

将来の生活や緊急時に備えるためにも定期的なモニタリングを大切にしています。

管理者：喜本　由美子（きもと　ゆみこ）
実施事業：計画相談支援
契約者数：68名（令和7年5月現在）
所在地：船橋市習志野台1-11-4 三和医療ビル2階（201）
連絡先：TEL 047-401-0740　FAX 047-401-0278
　　soudan@raftnet.org
事業所番号：1232800571

法人本部・事務局

法人の事務全般を担っています。

所在地：船橋市習志野台1-11-4
　　三和医療ビル2階（201）
連絡先：TEL 047-401-0740　FAX 047-401-0278
　　raft@raftnet.org

もっと知りたいラフトで働く人のこと。

職員インタビュー

令和７年
５月

ラフトで皆さんと長く関わり続けられることをとても嬉しく思っています。

むらた　ふみこ
村田 福実子

2019年入職 / サポート＆サービスラフト
サービス提供責任者
趣味：こちらはお気に入りのマイドラム。
音は渋めです。キラキラでかわいい！

こんにちは、村田福実子です。コーラル開所のタイミングで生活支援員として入職し、現在はサポート&サービスラフトに所属しています。

学生時代は衣服と美術教育を専攻し、卒業後はリハビリ助手や幼稚園・保育園の先生、事務職など、さまざまな仕事を経験しました。ラフトでの勤務がどの仕事よりも一番長いです。

入職の決め手は、ボランティアに入ったときに感じた雰囲気がとても明るくて楽しげで、「きっと楽しく働けそう！」「色々な方と関わってみたい！」と思えたからです。

実際にラフトの職員になり、多くの出会いはもちろん、利用者の皆さんとの外出や、生活のサポートを通して長く関わり続けられることを、とても嬉しく思っています。

未経験からのスタートでしたが、日々の支援やさまざまな研修を通して「こうしたらもっと良いかな？」とアイデアが浮かぶほか、少しずつ視野が広がってきたように感じます。

これからも、ささやかながら皆さんの暮らしに寄り添うサポートができたらと思います。
どうぞ引き続き、よろしくお願いいたします！

ラフトは「うまくいかない」を楽しむ生き方があることを気づかせてくれた職場です。

だいまる　あいみ
大丸 愛実

2024年入職 / コーラル 生活支援員
趣味：海を眺めたり、俳句や短歌を作ることが好きです。

コーラル職員としてラフトで働いています。
大丸愛実です。

以前は、専門学校でデザインを学び、その後は鞄を生産、販売をする会社に勤めていました。福祉業界での経験はなく、ラフトが初めてになります。

ラフトで働きたいと思ったのは、転職活動でコーラルへ見学したことがきっかけでした。利用者様と職員との関わりがとても自然な雰囲気で、居心地がよかったことを今でも覚えています。また、当時いた職員が、利用者様の行動に対して、表面上ではなく内面を理解しようと努める姿に、「こんなすごいお仕事があるのか！」と、とても胸を打たれました。そして、職員と一緒になって案内をして下さった利用者様の笑顔と優しさが、福祉の世界へ挑戦する背中を押してくれました。

現在まで、支援のお仕事を楽しく続けることができているのは、いつも温かく接して下さる利用者様やご家族の皆様、職員の皆様のお陰です。まだまだ未熟者ですが、感謝の思いを現場でお返しできるように努めていきます。これからもどうぞ、よろしくお願い致します。

Voyageでは毎回、２名の職員をご紹介していきます。

made in コーラル

商品のご紹介

ペインティングエプロン

コーラルメンバーたちがペインティングした布地で縫製した、1点もののエプロンです。
耐水性のある染料なので、
お洗濯もOKです！

5,000円

コーラルTシャツ

2025年コーラルTシャツは4種のデザインを取り揃えています。ぜひ、ギャラリーショップにてお気に入りを見つけてください！

2,500円

コーラル×ナティ トートバッグ

タイ在住のハンドメイド作家・ナティさんとのコラボレーションバッグです。
A4サイズが入ります。
size・W285㎜×H360㎜

1,600円

コーラル×ナティ ポーチ

コーラルメンバーの作品をナティさんがデザイン、プリントした布地で縫製したポーチです。
size・W235㎜×H165㎜

1,800円

お散歩バッグ

トートバッグにアクリル絵の具でペインティングしたり、刺しゅう作品を縫い付けたりした唯一無二の1点ものです。
お散歩のおともに！
size・W285㎜×H200㎜×D90㎜

1,000円(ペイント)　2,500円(刺繍)

手織りミニケース

コーラルで染色した布と手織り布を使った、小さな小物入れです。
お薬やエアタグ入れなどにもどうぞ。
size・W80㎜×H85㎜

1,500円

ボールペン

メンバーたちの作品をデザインしたおしゃれなボールペンです。さり気なく使ってみたい！

300円

缶バッジ＆マグネット

メンバーたちの絵が色とりどりな缶バッジ＆マグネットになっています！
見ているだけでも楽しい！

100円

コーラルの商品は、コーラルの事業所内ギャラリーや、コミュニティカフェひなたぼっこ（船橋市本町4-31-23）にて販売しております。
また、メールやインスタグラムでもご注文を承っています。(送料は別途頂戴いたします)
商品に関するお問い合わせ、ご注文は　coral@raftnet.org / 047-401-6460　までどうぞ。

管理者の独り言

今回のお題
ラフトって。

つちや　じろう / コーラル

ラフトに入職して早10年。未経験で始めたこの仕事がこんなに続くとは、我ながら驚きです。
たまには自分で自分を褒めてあげましょう。よくがんばりました、えらいぞ。
がんばった？う～ん、がんばってきたのかな。あんまりがんばったって感じでもないんだよなあ。なんていうか、楽しませてもらっているうちに、気が付いたら10年経ってたっていうか。
なんだかそれって、竜宮城みたいですね。ラフトって、の答えはつまり竜宮城ってことでよろしいですか？
いやさすがに、それは違いますけども。
う～んでも結果的には…同じ...なのか？
ちょっと整理しましょう。わたしが浦島太郎で、亀のいかだに乗って、竜宮城すなわちラフトに辿り着いたと。
あれ？亀のいかだ？亀のラフト？亀のラフトで竜宮城のラフトに？整理どころか余計ややこしくなってますな。
まあいいや。とにかく、亀のいかだについつい乗っちゃって、なんやかんやで気が付いたら10年経ってましたってわけですか。
ああ、それひょっとして漂流しちゃってますよね。亀は長生きだからいいとして、あなた10年もよく生きてましたね。その間、いったい何を食べてたんですか？
あっはい、お昼はいつもおにぎりを...。毎日欠かさずおにぎりをむすんでおりまして、いつもそれを 食べてます、利用者さんの隣で。
わたしのラフトでの10年は、おにぎりと共にありました。
毎日飽きないかって、それが飽きないんですよね。
この仕事と一緒で。

ラフトが誕生した頃の写真
「成人式の記念写真」

うえま　じょう / サポート＆サービスラフト

ラフト設立当時は中学生で、大好きだったスターウォーズのライトセーバー戦に憧れて剣道部に入り、朝から晩まで土日も返上で部活三昧の日々を送っていた。両者に共通するのは剣を扱うところと、とにかく厳しくて怖い顧問がひとたび面を被ればダースベイダーに、それに立ち向かう(？)私が正義のヒーロー“ジェダイ”に見えなくもないところ。
小学生気分の抜けない感じだったけれど、それでも卒業後は皆と同じように高校、大学と進学して就職するんだろうと思っていた。1年浪人して大学生となり、大学院では思うように研究が進まず、まわりが就職して充実した毎日を送っているやら結婚するやらを聞くにつけ、等しく歳は重ねているのに一人だけ取り残されている感じがして、思い返せば、ラフトに入職したのもそんな焦りと家から近い職場であることが大きな理由だった。
このころのラフトというと「おせんべい」のイメージ。宮本公民館まつりで販売していたのを母が買ってきて何度か食べていた。イチゴ味だったか、ピンク色のおせんべいが好きだったな。
意外と身近にあったラフト。学生時代に知っていたらドイツビール屋のバイトだけじゃなくて、きっと登録ヘルパーの仕事もやっていて、また違った人生だったんだろうとふと思う。
なにはともあれ皆と同じレールから外れてしまったとばかり考えていたものの、いつの間にか、決まったルートも動力も持たない“いかだ”に乗り換えていたのか、私。よかったよかった。
そういえば、いかだの動力源って何なんだろう。
やっぱり自分で漕ぐしかないのか。いや、他の人が助けてくれることもあるし、流れに身をまかすことも時にはあるのかもしれない。思いも寄らないところから影響を受けたり回り道をしたり……
ん？これって、これまでの自分の人生と同じ？
つまり私はラフト（漂流）生活を体現してきたということなのか？！
・・・それはさておき、おせんべいだけじゃないラフトを知った自分に，４年という時の流れを感じるなぁ。

ラフトが誕生した頃の写真
「中学校の卒業アルバムより」

きもと　ゆみこ　/　グループホームラフト
相談支援センターラフト

ラフトって、いかだ。
あの日あの時、私は豪華客船には乗りたくはなくて。
風に吹かれて雨に打たれて、晴れた日は日差しが眩し過ぎちゃったりもするんだろうけど、太陽を感じて風を感じて雨を感じながら見えるもの、感じるものに嘘はないはず。
いかだは壊れれば直せばいいし、落ちたらもう一回乗り直せばいい。
いかだだよ、そんなに難しくはないでしょう。
ハラハラドキドキのラフティングもたのしそう。きっと夜になればきれいな星が見えるはず。
そんな思いで名付けた「ラフト」。あれから17年が過ぎた。
思い返せば、川にいるのか海にいるのか、わからなくなっちゃうこともしょっちゅうだった。
懸命に漕いでいるのに全く前へ進まず。それでも前に進もうと、ただただ漕ぎ続ける日も少なくなかった。
激流くだりってたのしいだけじゃないんだね・・・と、それってやる前に気づけたんじゃない？と自問自答しちゃった日もあった。
壊れたいかだを直すのもそう簡単じゃないし、いかだから落ちてもう一回乗り直すのも想像以上にエネルギーがいる。
夜空がきれいな日もたくさんあったけれど、黒い雲で覆われた空に計り知れない怖さを感じる夜も一度や二度ではなかった。
ここだけの話、豪華客船にもし乗せてくれるなら乗せてもらいたい！って思った日もある。

でもいつからか、ラフトがラフト（いかだ）であることに、励まされるようになっていった。
雨に負けそうになって風に負けそうになって雪にも夏の暑さにも負けそうになったわけだけど。いや、時々負けたけど。
それでも「今」がある。それだからこそ「今」がある。
何度も修理を重ねたいかだは、気づけばだいぶ頑丈になったように思う。今や急流くだりはお手の物。
それでもやっぱり「どうにもならないかも」と思うようなことは起きる。
最近はそんな時、職員の方から「ラフトは"いかだ”ですからね。」と言ってくる。そして納得する自分。

17年前、私は「まだ見ぬ景色」がどうしても見たくて、
無邪気な希望を持てるだけ持って、小さないかだに乗って出発した。
ふと見渡せば、見たかった景色が目の前に少しずつ広がっている。

ラフトが誕生した頃の写真
「タイの障害児入所施設にて」